从4年//月5日 Na. 5 9 佐井村役場

男 2545人 女 2624人 1.088世帯

いる当村漁民は、密漁船によれわたつている当村沖合の漁場には、今も密漁船の高地でまた。 と密漁船のさわざまでまきい は したことがあります。 こしたことがあります。 こしたことがあります。 こしたことがあります。 こしたことがあります。 こしたことがあります。 こしたことがあります。 こしたことがあります。 は 無 に 対 から 補助金を受けて 魚礁を 行から 補助金を受けて 魚礁を でる当村沖合の漁場として県下に知 お監漁る漁知 よそけを県 一 操指るの産 業導か自に とでありましたとのでありましたとのであります。 を変するものであります。 を変するものであります。 とであります。 とであります。

ے

工締びにおがの満合

社脚合業 と有位いた会し員協申を意多大記 てな脚合業 の同し厚議数候念 域経生漁組上く左のに式 全済産業合け御催御も異体的力経のる礼し臨恵を てな各幸 るがり立組漁 年前から国の施策に添つて基準しておりますが、本にも漁港を存在することにしておりますが、本にも漁港を中した一度の修築も着々と進められていますのに、これと併行しました。一角に集中して漁業経営の近くには四種漁港を中心とではあります。 を続ける他産業には四種漁港を中心とではありますが、本にも漁業を選出しています。 しております。 を続ける他産業にはつき追述を中心とながら、高度の発展の漁業の海巣は一朝一といます。 とております。 を続ける他産業に追つき追述を中心と存しましております。 を続ける他産業に追つき追述を中心と存しましていますして漁業経営の近めた。 を続ける他産業に追っき追述を中心と存しまして、当時である。 を続ける他産業に追っき追述を中心と存しました。 を続ける他産業に追っき追述を中心と存しました。 を続ける他産業に追っき追述を中心と存しました。 を続ける他産業に追っき追述を中心と存しました。 を続ける他産業に追っき追述を決定されています。 と名位の御指導御支援に

業と育てる漁業の ための唯一の方架 に大別されるもの は生産手 9 あ業台 5 の第三 第段と が業を

ぎす

た ①のるしを ん消まも準い回 白化ず秋備久復 でを具めて調料 も準い回すり合つ、子でか秋 秋備冬復。すがた疲がからは 秋備冬復 てだ質が栄でをし戻る悪りれくら 体食を良養すす迎きバ季か頭やるだ 力物多くを 。るえびテェコのすつの くら開夏

法を選える 吏 玄 ではなってと すし ての御に、水産の 岩 合井 0 長村 山埋漁 意 しく Ľ 菜准 すくよ御 め 弥 拹 う指 と念同いに組 同 郎 導のら 組 た当合 お御でむ 合 のこりますのでと疲労を感じ、 にズ生切を と・乳な自 ラン οB 、大学 上りい 野た な回 変労を感じ、だるさが ・大豆製品などを充分 ・大豆製品などを充分 れ・卵・魚・肉・チー 菜ん を多くとりま

よせに 办助李白 もた 適つの当ぶ多 っない食べいのからない食べ う合物

ま消るた休 が役ろ内分

スがをからがは米ル分 ではさけて、火をとおした。 がい、よきんは日光にあて を入る伝染病を防ぐキャーの活力を強力できるだけなまるの はさけて、火をとおした。 できるだけなまるの がには、食中毒、赤痢の予防 がんできるだけなまるの がんできるだけなまるの がんできるだけなまるの がんできるだけなまるの がってきるだけなまるの がってきるだけなまるの がってきるだけなまるの がってきるだけなまるの がってきるだけなまるの がってきるだけなまるの がってきるだけなまるの がった。 うつ 理新あ

in the

りましよ さする -は大 てず Wh. ういのでり募金 社を予りな運動

のせ痢防 ま三ます。目の 0

びまれがいします。 と生活を対くる人々の と生活を対くる人々の と生活を対くる人々の を生活を対くる人々の を生活を対しますが、私 の他協力を場わります。 の知協力を場わります。 が、対しますのでよろと 期間中募金委員がい と出資が が、私

で運って

とく

772

かでよろしく一

7

民 共 同 助 募 付 金 合 IC Va

協力しましよ

3

国

福りな、し動民祉慰方世と一た のめ々のげはす 合を中る国け 助い励の愛民あ (助ま数の総い 多運が共く動か同 あけ L り合

第三回定例議会は、昭 十月三十一日開会され た第三回定例議会は、昭 和四十四年度一般会計、 質(現計一八一、四九八千円 質(現計一八一、四九八千円 のが原案通り可決され	赤ちやん優良児 一方々が、十月二十九日、 で表彰されました。 表彰は、むつ保健所で優良児として表彰されました。 古佐井 能 登 英 樹 (父勝義) 古佐井 能 登 英 樹 (父勝義)
会終る会終る	り本年は佐井小学校にはいるいる を
出稼ぎ労働者 とらえることになり、 上一月一日から十一月二 をとらえることになり、 中一月一日から十一月二 中間題について必要な統計 でを調査期間とし を作るために行なう。	等別教室 (音楽室、図工学別教室 (音楽室、図工学校に一棟建設することになりました。) ました。 ○請負業者 行本建設 「一月二十日」 「一月二十日」 「一月二十日」 「一月二十日」 「一月二十九日入札が行な 「一十月二十九日入札が行なりました。 「一十月二十九日入札が行なりました。」 「一日」 「一日」 「一日」 「一日」 「一日」 「一日」 「一日」 「一日
から 五六七万円、延長五五〇 から 電で残り一、二年で磯谷 まで開通する予定である。 は、まで開通する予定である。 は、まで開通する予定である。 とし 協力下さい。 厚 生 係	○回 積 ○回 積 ○面 積 ○面 積 ○計算金額 ○正 二棟二二五万円 ○工 期 十一月一日~十二月二十日 (予定) 日で昭和四十二年度から として昭和四十二年度から を がている村道川磯線は本 りている村道川磯線は本 りている村道川磯線は本 りている村道川磯線は本

駆除を行なっております。 およずみの害は周知の事ですが、物の被害 でけでも年間一千億円 を下らないといわれて を下らないといわれて は役場二番窓口まで申するために今回手間のからないラットン繋粒を選定し、共同購入にを選定し、共同購入にがいるがある。 円~四十万円」です。 業務取扱店」へ申込み 業務取扱店」へ申込み で「住宅金融公庫 におります。 新数世をさい。 国保衛生係 リ antiography. 住 12 ずみ駆け 宅 の斡旋につい 貸付けについて 改 良 資 金 ご結婚おめでとう お誕生おめでとう 万谷美惠子 F 西增 柳谷夕五子(季部町) **長**伊藤 柳田千代子(大佐井) 宮野 巫希 子 中川 田 籍 村田 沢 (父母治) 福 (父市雄) 0 多喜子 挺 直 弘泰 利-博 子(天佐井) 子彦 (十月分) 実 昭 (大佐井) (古佐井) (天佐井) (福富町 福 (大佐井 大佐井 浦 H 浦 木 岡 - FF 津 ど逝去おくやみ 畑 亀木 H H 村 1 沢 栄 办 3 周 治 太 弘 〈郎 (国太郎方 大佐井 よ(重吉方) 書きみる方 美 申します 晃 古佐井 12 古佐井 浦 越 さい。 ないますから火災を間違 きは わないように注意して下 后 お知らせ下さい。 にサイレンの試験を行 警察官派出所 もし火災を発見したと 佐井村役場 毎月一日と十五日 0 5 知 6 電話 t 電話 10番 0